I-O DATA

PJ-11XGA
PJ-11SVGA
取扱説明書

100004-02

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
   したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
   国外に持ち出す場合には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
11) お客様は、本製品を一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
12) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows,MS及びMS-DOSは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告および注意表示

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

●

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠警告


厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。


電源プラグを抜く

異常な熱さ、煙、異常音、異臭が発生したらすぐに使用を中止してください。

万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。


分解禁止

修理・改造・分解はしないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。


禁止

通気孔をふさがないでください。

通気孔は内部の温度上昇を防ぐものです。物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、火災や故障の原因になります。


禁止

装置内部へ異物をいれないでください。

内部に金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。


水濡れ禁止

本製品を濡らしたり、水気の多い場所で使用しないでください。

お風呂場、雨天・降雪中、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。


厳守

本製品設置の際は、周囲から適当な空間を空けてください。

目安として10㎝以上の空間を空けてください。


禁止

本製品は紙や布などの柔らかいものの上に設置しないでください。

吸気孔に吸いついて内部の温度が上昇し、火災の原因となることがあります。


禁止

本製品の近くに燃えやすいものを置かないでください。

火災の原因となることがあります。


禁止

使用中や使用後は排気孔（レンズに向かって左側面）及びその周囲の表面や設置台が熱くなりますので触らないでください。

やけどの原因になりますので、触らないでください。


禁止

使用中はレンズをのぞかないでください。

使用中はレンズから大変強い光が発せられます。目を痛める原因となりますので、絶対にのぞかないでください。


禁止

リモコンのレーザー光をのぞき込んだり、人の目にあてたりしないでください（PJ-11XGA のみ）。

リモコンにはClass 2レーザーが装備されています。目を痛める原因となりますので、絶対にのぞき込まないでください。


禁止

通気孔などから金属類や燃えやすいものを入れないでください。

火災・感電の原因となります。


厳守

ランプ交換の際は、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

感電の原因となります。


禁止

ケーブルの扱いにはご注意ください。

ケーブルは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、ケーブルが傷み、火災や感電の原因になります。

- ものをのせない
- 引っ張らない
- 折り曲げない
- 押しつけない
- 加工しない
- 熱器具のそばで使わない


厳守

電源プラグの抜き差しについて。

- 電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行ってください。電源コードを引っ張ると一部が断線し、火災の原因になります。
- 電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。


厳守

電源プラグなどの接触不良について。

電源プラグはほこりが付着していないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。接触不良で火災の原因になります。


禁止

落下などによる衝撃について。

落下させたり、ぶつけるなどの衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。


禁止

本製品（ソフトウェアも含む）は日本国内仕様です。

国外では使用しないでください。国外で使用した場合、弊社は一切責任を負いかねます。


禁止

本製品は下記のような場所で使用しないでください。

故障の原因になります。

- 水分や湿気の多い場所
- ほこりの多い場所
- 振動や衝撃の加わる場所
- 通気孔がふさがる場所
- 温度差の激しい場所
- 不安定な場所


厳守

温度差のある場所への移動について。

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。使用する場所で電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。

電源コードについて


厳守

電源コードの取り扱いは以下のことにご注意ください。

- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
- 電源コードをACコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線または短絡して、火災・感電・故障の原因となります。


感電注意

- 電源コードのプラグは、濡れた手でACコンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。


発火注意

- 電源コードがACコンセントに接続されているときには濡れた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。
- 電源コードのプラグはほこりが付着していないことを確認し、根本までしっかり差し込んでください。接触不良で火災の原因となります。

レーザー光について


禁止

レーザー光は直視しないでください。

レーザー光を直視すると視覚障害の原因となります。

電池について


禁止

電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらないでください。

- 電池の液が目に入ったり、体や衣服につくと失明やけが、皮膚の炎症の原因となります。

液が目に入ったとき ➡ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。

液が体や衣服についたとき ➡ すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。



厳守

電池は乳幼児の手の届かない場所に置いてください。

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となります。

万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。



厳守

電池から液が漏れたら、直ちに火気より遠ざけてください。

漏れた液や気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。



禁止

電池を火の中に入れたり、加熱・分解・改造・充電しないでください。また、水で濡らさないでください。

液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。



禁止

（＋）（－）を金属類で短絡させないでください。

液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。

⚠ 注意

注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

禁止

本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

- 振動や衝撃の加わる場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気やホコリが多い場所
- 温湿度差の激しい場所
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- 強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- 水気の多い場所（台所、浴室など）
- 傾いた場所
- 腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- 静電気の影響の強い場所
- 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所での使用（保管は構いません）

禁止

本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

- 落としたり、衝撃を加えない
- 本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない



金属など端面への接触について。

使用中、金属やプラスチック部分に万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。また、すぐに電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。



ケーブルについて。

- ケーブルは足などに引っ掛けないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがや接続機器の故障の原因になります。
- ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接触不良などの原因になります。



眼精疲労について。

映像を見る作業を続けるときは、作業場を 300～1000 ルクスの明るさにしてください。また、連続作業をするときは、1 時間に 10 分から 15 分程度の休憩をとってください。長時間、映像を見続けると、眼に疲労が蓄積されます。



電波障害について。

ほかの電子機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音および映像が乱れることがあります。その場合は次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- テレビやラジオのアンテナの向きを変えてください。
- コンセントを別にしてください。



ランプ冷却のため、排気ファン動作中は電源を抜かないでください。



ランプ交換時および収納時について。

使用後は、キャビネット内部が高温になっています。ランプ交換や収納の前には必ず 1 時間程度放置し、十分に熱をとってください。



使用環境と収納環境について。

温度の高い場所、湿度の高い場所は避けてください。


禁止

指定の電池以外は使用しないでください。

- 指定の電池（単 4 型乾電池）以外は使用しないでください。
- 指定以外の電池を使用した場合、本製品の故障の原因となります。


厳守

電池の極性を間違えないでください。

電池には＋極と－極があります。取り付け時には、極性に十分注意して取り付けてください。本製品の故障の原因となります。


厳守

電池を使いきったときや、長時間使用しない時は取り出してください。

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがなどの原因となります。


禁止

ご使用直後はランプ部分は大変高温になっています。絶対に触れないでください。

やけどの恐れがあります。


厳守

ランプの交換はご使用後 1 時間程度放置し、余熱が取れてから行ってください。


厳守

ランプモジュールやガラスのバルブを落とさないようご注意ください。

ガラスが散り、けがをする恐れがあります。


禁止

ランプのお取り扱い時は、手袋などをして素手ではさわらないようにしてください。


禁止

ランプ部のプラスチック部分以外は、絶対にさわらないでください。

破損する恐れがあります。

お取り扱い

プロジェクタの設置場所

- 風通しの良い所に設置してください。
  内部の温度上昇を防ぐため、通気孔をふさがないでください。
- 高温にならない場所に設置してください。
  直射日光のあたる場所や、ストーブのような熱器具の近くに設置すると、故障の原因になります。
- 屋内に設置してください。
  屋外で使用できる構造にはなっていないので、故障の原因になります。
- 腐食性ガスの発生しない所、振動のない場所に設置してください。
  油煙や腐食性ガスの発生場所、振動が継続する場所に置くと、故障の原因になります。
- 設置場所の強度をご確認の上、安全に設置してください。

お手入れのために

- レンズが汚れた場合は、脱脂綿か柔らかいきれいな布で軽く拭き取ってください。
- レンズ以外の汚れは、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く絞ってから、軽く拭いてください。ベンジンやシンナーなどの溶剤は避けてください。
- レンズに水滴などをつけたまま放置しないでください。水滴などがついた場合はすぐに脱脂綿や柔らかい布などで拭き取ってください。放置しておくと表示面が変色したり、シミの原因となります。また、水分が内部へ侵入すると故障の原因となります。

廃棄について

廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則にしたがってください。

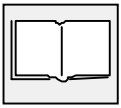
ランプ寿命

● 本製品に使用しているランプには寿命があります。(約1,500時間)
ランプの交換時期は、画面上に警告メッセージを表示してお知らせします。新しい専用のランプへの交換を行ってください(66ページ参照)。ランプ交換後はOSDメニューでリセット作業を行う必要があります。
※ ランプは消耗品ですので、保証の対象にはなりません。
※ 上記のランプ寿命は、あくまでも目安です。多少異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

その他

● ご使用にならないときは、ほこりが入らないようカバーなどをかけてください。
● レンズ部の周囲を押さえたり、その部分に過度の負担がかかる状態で持ち運んだりしないでください。レンズ部が破損するおそれがあります。
● レンズ部の表面は傷つきやすいので、工具や鉛筆、ボールペンなどの固いもので押したり、叩いたり、こすったりしないでください。
● 本製品の取り付けや取り外しのときは、必ず、パソコン本体および周辺機器の電源を切ってから行ってください。
● 本製品の修理は弊社修理係にご依頼ください。送付先については75ページを参照してください。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A



本書をお読みになる前に

ここでは、本書内で呼ばれている言葉の意味について説明しています。

呼び方	意　味
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating Systemおよび Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System の総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating Systemおよび Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System の総称
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows Me/98/95	Windows Me、Windows 98およびWindows 95の総称
Windows	Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95および Windows 2000の総称

もくじ

安全上のご注意 i
本書をお読みになる前に xii
もくじ xiii

はじめに

特徴 2
箱の中には 3
実行用ディスクを作ろう 6

取り付けよう

各部の名称を確認 8
接続する 10

らくらく操作でフル活用

電源をオン/オフ 14
投影の高さ・サイズ・フォーカス 16
各部の機能と操作方法 18
OSDメニューの基本操作 23
OSDメニューの詳細 24

もくじ

サポートソフトを活用する

Windows XPの場合 32
Windows 2000の場合 41
Windows Me/98の場合 48
Windows 95 4.00.950/4.00.950aの場合 52
Windows 95 4.00.950 B/4.00.950 Cの場合 ... 55

ふろく

困ったときには 62
ランプの交換 66
リモコンに電池をセット 68
用語解説 69
ハードウェア仕様 70

サポートセンターへのお問い合わせ..... 72
保証について 73
サポートソフトのバージョンアップ..... 74
修理について 75

はじめに

箱を開けてから、作業に取り掛かるまでの準備を行います。

特徴 **2**ページ

本製品の特徴について説明します。

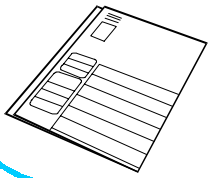
箱の中には **3**ページ

本製品内にどんな物が入っているか確認します。

実行用ディスクを作ろう **6**ページ

サポートソフトのバックアップディスクを作成します。

ユーザー登録をしよう



登録方法は、添付のユーザー登録カードをご覧ください。

特徴

1. 6Kg の軽量コンパクト

モバイルプレゼンテーションにも最適。携帯用キャリングケースを標準装備。

1100ANSI ルーメン

明るく、見やすく、くっきりと投影します。

最大300インチの投影画面サイズ

本体の調整や投影距離の調整で、20インチから300インチまで投影できます。

シングルチップDLP™方式

DLP技術により、鮮明で明るく自然な投影が可能です。

DLP™
A TEXAS INSTRUMENTS TECHNOLOGY

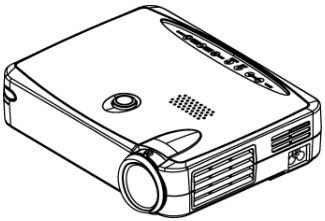
台形補正機能（キーストン補正機能）を搭載

プロジェクタの傾きによって起こる投影画面のゆがみを調整する機能を搭載しています。

箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。
□ にチェックをつけながら、ご確認ください。

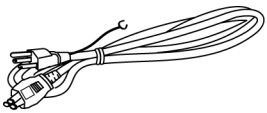
● PJ-11XGA/11SVGA共通の添付品



□ プロジェクタ本体



□ S ビデオケーブル
（2m）



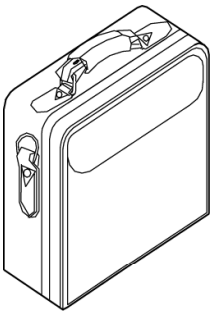
□ 電源ケーブル
（2m）



□ コンポジットケーブル
（1.5m）



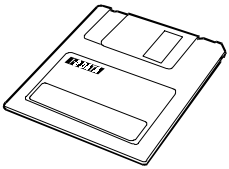
□ オーディオケーブル
（1.8m）



□ 携帯用ケース



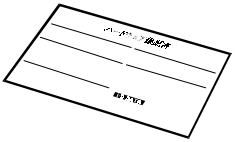
☑ 取扱説明書



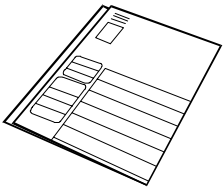
☐ PJ-11 シリーズ
サポートソフト



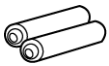
☐ ハードウェアシリアル
NO. シール



☐ ハードウェア保証書

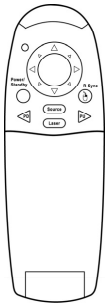


☐ ユーザー登録カード

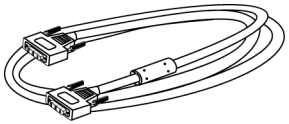


☐ 乾電池（単 4 型 2 個）
※ 添付リモコンの動作確認用です。できるだけ早く新しい乾電池とお取替えください。

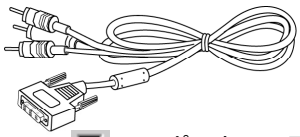
● PJ-11XGA だけの添付品



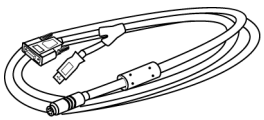
☐ マウス機能＆レーザー・
ポインター付きリモコン



☐ DVI-アナログ RGB
ケーブル（1.8m）

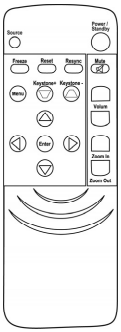


☐ コンポーネント用
ケーブル（1.8m）

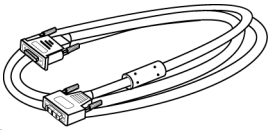


☐ マウスケーブル
（1.8m）

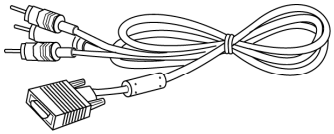
● PJ-11SVGAだけの添付品



□ リモコン



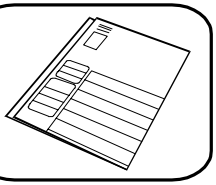
□ アナログ RGB 接続ケーブル
（1.8m）



□ コンポーネント用
ケーブル（1.8m）

万一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

ユーザー登録はお済みですか？
「ユーザー登録カード」に登録方法が記載されています。登録してから次ページへ進みましょう！



注意！

箱･梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

実行用ディスクを作ろう

PJ-11 シリーズサポートソフトは、必ずバックアップディスクを作成し、バックアップディスクを実行用ディスクとしてご使用ください。

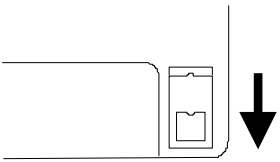
注意！

サポートソフトを破損した場合の修理は有償です。必ず本手順を行い、サポートソフトは大切に保管してください。

以下は、フロッピーディスクドライブがAドライブの場合のバックアップディスク作成例です。

1 フォーマット済みの空きフロッピーディスクを用意します。
空きフロッピーディスクは「3.5インチ2HD：1.44M/バイト」を用意します。

2 サポートソフトを書き込み禁止にします。



3 ディスクのコピーを行います。
[マイコンピュータ]の[3.5インチ FD]を右クリックし[ディスクのコピー]を選択します。



4 メッセージにしたがって、バックアップを取ります。
サポートソフトと空きフロッピーディスクをメッセージにしたがって入れ替えながら、バックアップを取ります。

取り付けよう

本製品の各部の名称を確認し、映像機器を接続します。



各部の名称を確認 8ページ

本製品の各部分の名称を確認してください。



接続する 10ページ

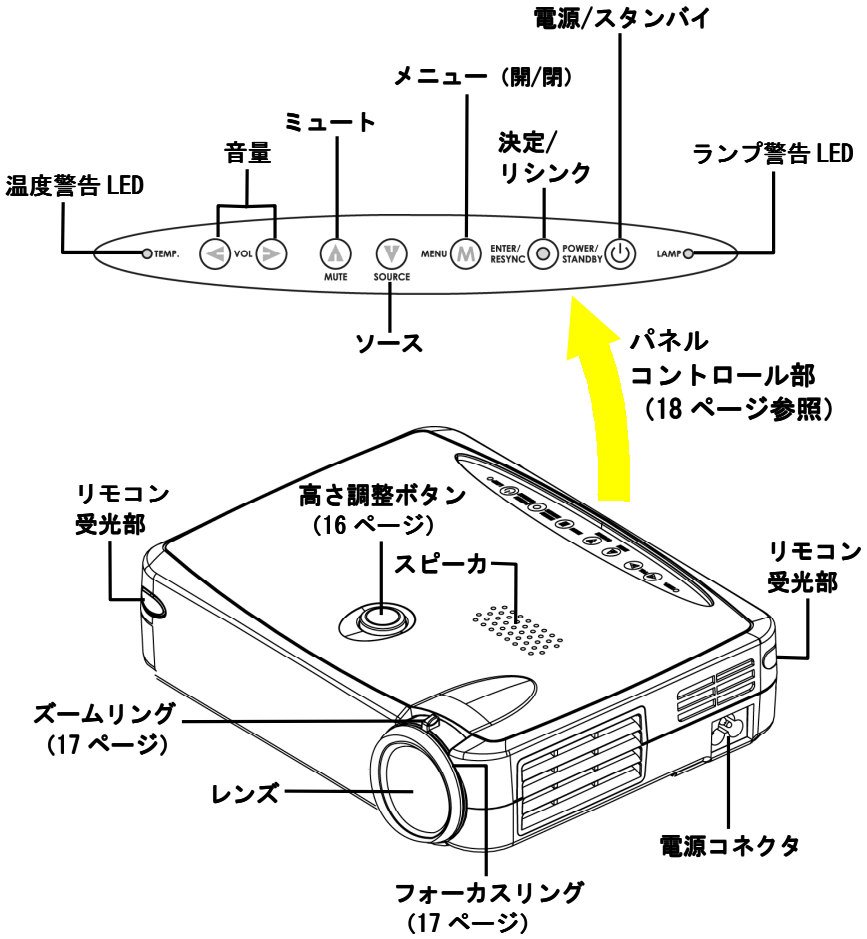
プロジェクタに映像機器を接続します。添付のケーブルでいろいろな映像機器を接続することができます。

各部の名称を確認

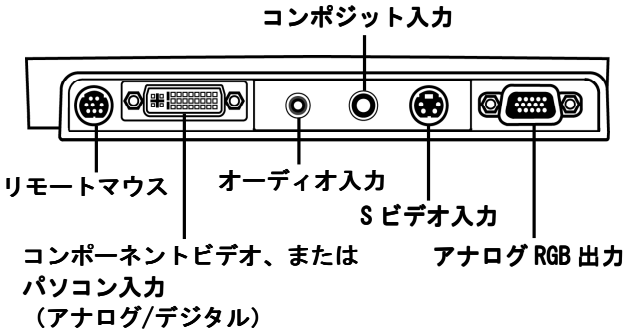
各部の名称をご確認ください。リモコンについては、【各部の機能と操作方法】（18 ページ）で説明しています。

本体

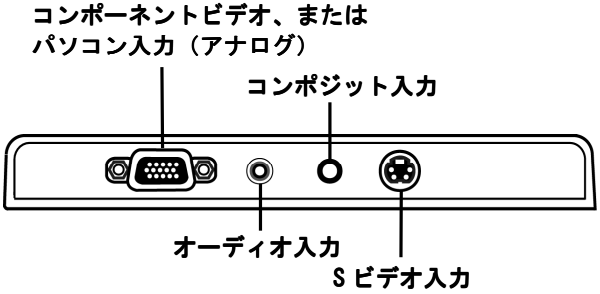
● PJ-11XGA/11SVGA 共通部



● PJ-11XGA背面部



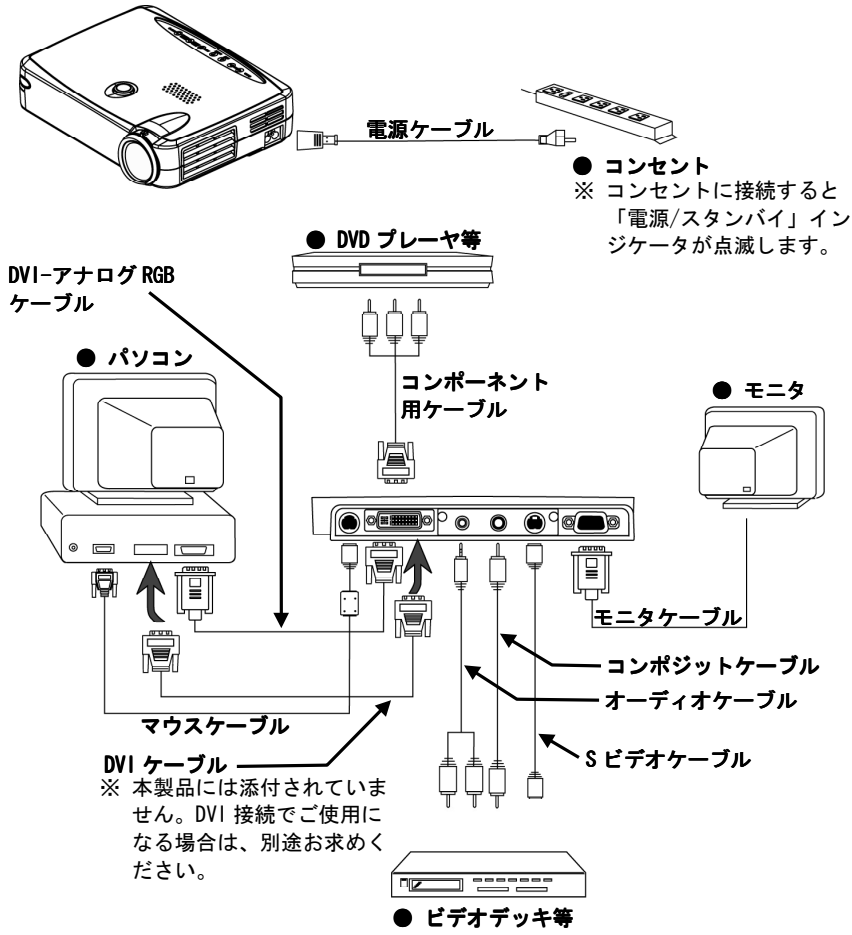
● PJ-11SVGA背面部



接続する

接続図を参考に必要な機器を接続してください。

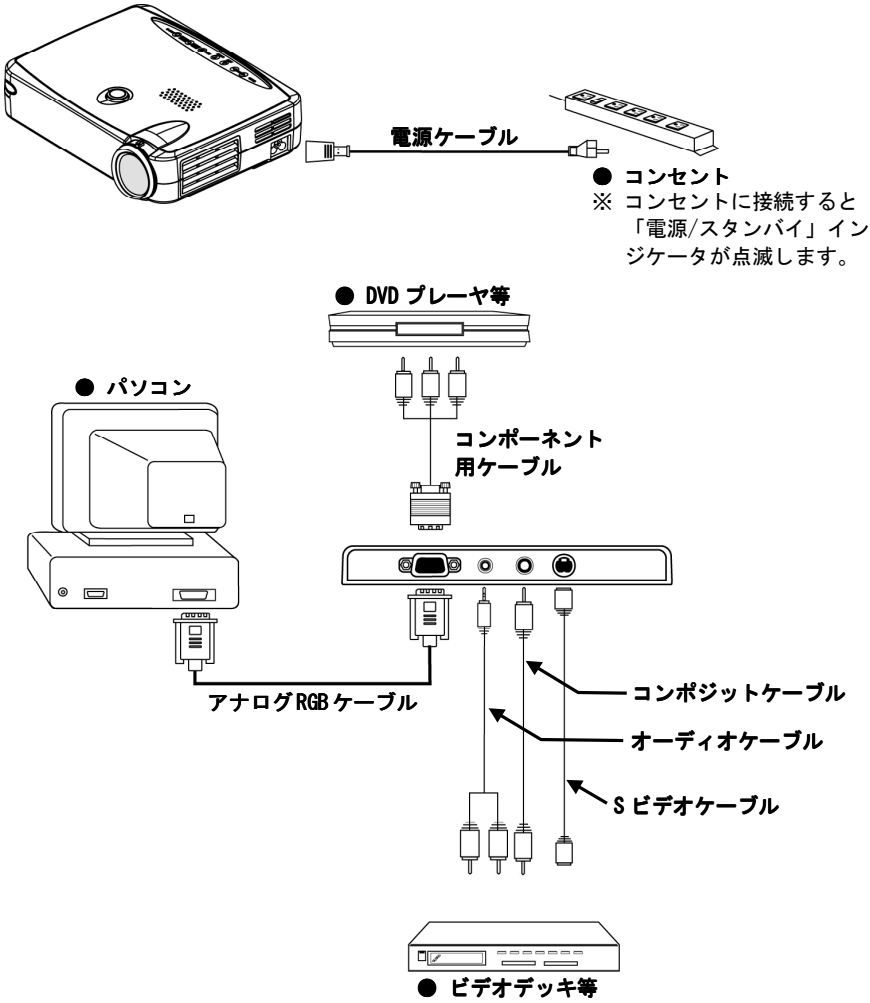
● PJ-11XGAの場合



注意！

「マウスケーブル」を接続した場合は、初回起動時にマウスドライバをインストールします。画面に従ってインストールをすすめてください。

● PJ-11SVGAの場合




MEMO

らくらく操作でフル活用

実際に投影して、投影画面を調整してください。
また、いくつかの簡単な操作を覚えておけば、プレゼンテーションのときに活用できます。



電源をオン/オフ 14ページ

オンとオフはここで説明している手順に従って行ってください。



投影の高さ･サイズ･フォーカス 16ページ

投影位置の高さ、フォーカス、サイズを調整します。



各部の機能と操作方法 18ページ

パネルコントロール、リモコンの各ボタンについて説明しています。



OSDメニューの基本操作 23ページ

OSDメニューの操作方法を説明しています。



OSDメニューの詳細 24ページ

OSDメニューの各タブと項目について説明しています。

電源をオン/オフ

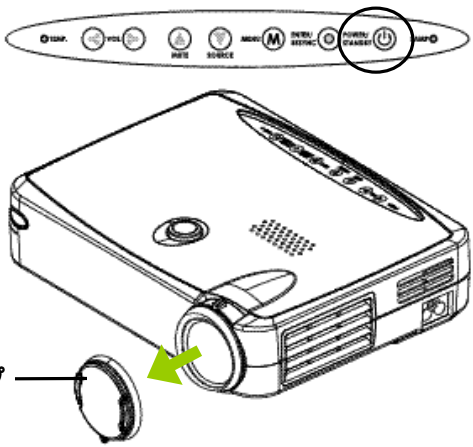
● 電源をオンにする（投影する）

1 **レンズキャップを取り外します。**

2 **各ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。**

3 **「電源/スタンバイ」ボタンを押します。**
スタートアップの画面が20秒間表示され、「電源/スタンバイ」インジケータが点灯します。
リモコンで操作する場合は、【各部の機能と操作方法】（18ページ）をご参照ください。

4 **接続機器の電源をオンにします。**
プロジェクタは自動的に接続機器を検出し投影します。



注意！

- **画面に何も表示されない場合は、各ケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。**
- **複数の映像機器を同時に接続している場合は、リモコンかパネルコントロールのソースボタンで映像を切り替えてください。**
- **リモコンはプロジェクタ本体から 6m の範囲内で、プロジェクタ本体のリモコン受光部（8 ページ参照）に向けて操作してください。**

● 電源をオフにする

1 **「電源/スタンバイ」ボタンを押します。**

2 **投影画面に「Power off the lamp？」と表示されたら、再び「電源/スタンバイ」ボタンを押します。**
「電源/スタンバイ」ボタンを押さなかった場合、またはそれ以外のボタンを押した場合は、元の画面に戻ります。



注意！

- **ランプ警告 LED が点灯したら、ランプモジュールをすぐに取り替えてください。(66 ページ参照)**
- **温度警告 LED が点灯したら、プロジェクタが高温になっていることを表します。このときプロジェクタは自動的にオフになります。**
  しばらく放置してランプが冷えると、再度オンにすることができますが、問題が続く場合は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
- **一旦電源をオフにした直後に再度電源をオンにする場合は、保護回路の働きにより、すぐに投影しないことがありますが、故障ではありません。ランプが冷えるまでしばらくお待ちください。**
- **電源コードを取り外す場合は、プロジェクタの冷却ファンが停止するのを待ってから取り外してください。**

投影の高さ・サイズ・フォーカス

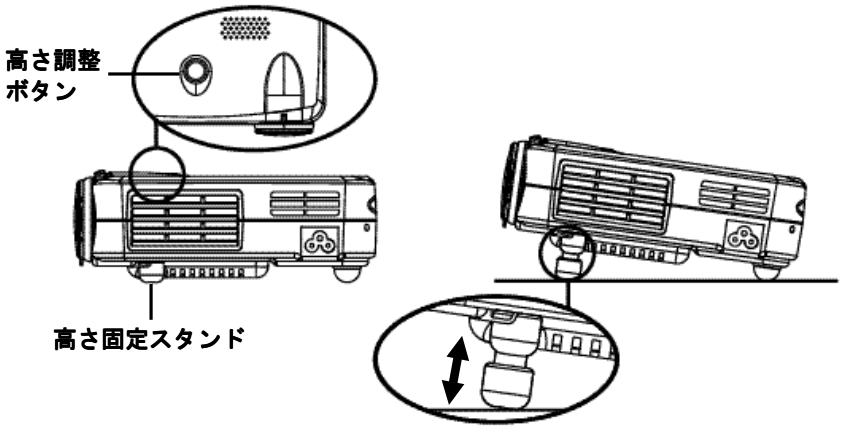
● 投影位置の高さを調整する

投影位置の調整は、「高さ調整」ボタンで簡単に行えます。

1 **「高さ調整」ボタンを押しつづけます。**

2 **1の状態のままプロジェクタを任意の高さに調整します。**
プロジェクタ本体を持ち上げたり、押し下げたりして調整します。

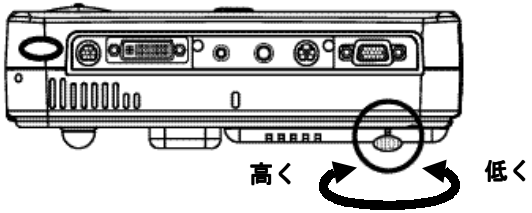
3 **ちょうど良い高さで「高さ調整」ボタンを放します。**
位置が固定されます。



参考

微調整には「微調整」ネジをご使用ください。

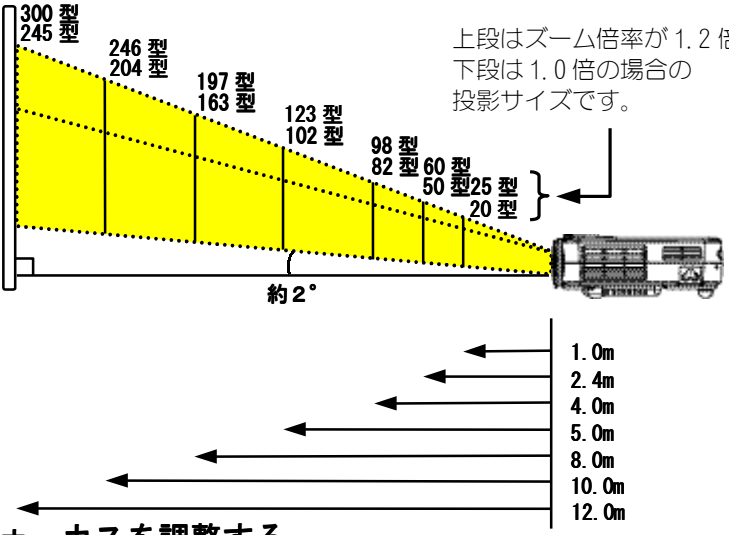
▼ 背面図（PJ-11XGA）



● サイズを調整する

スクリーンとプロジェクタの距離を調整します。

スクリーンとプロジェクタ間の距離を遠ざけると大きくなり、近づけると小さくなります。また、ズームリングを左右に動かすことによって、1.0倍～1.2倍まで調整することができます。

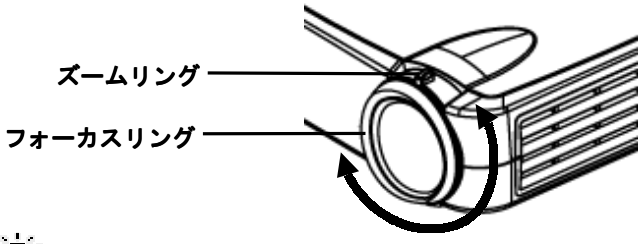


上段はズーム倍率が 1.2 倍の場合、
下段は 1.0 倍の場合の
投影サイズです。

● フォーカスを調整する

フォーカスリングを回転させます。

左右に回転させ、投影している画面が鮮明になるように調整します。



注意！

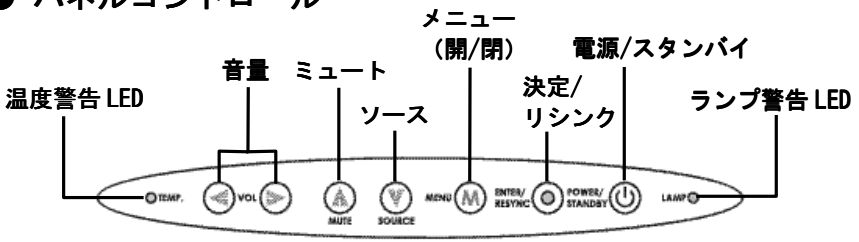
スクリーンとプロジェクタ間の距離が 1m 以内、または 12m 以上の場合、うまくフォーカスを合わせることはできません。

各部の機能と操作方法

プロジェクタ本体のパネルコントロールか、リモコンのいづれかを使って、各種操作を行うことができます。
リモコンをご使用になる場合は、【リモコンに電池をセット】（68ページ）を参照し、電池をセットしてください。

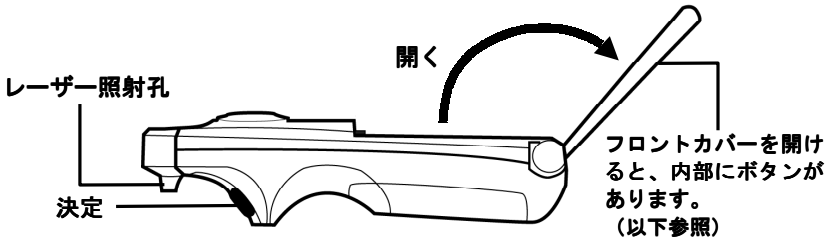
・パネルコントロール　⇒　以下参照
・PJ-11XGA用リモコン　⇒　19ページ参照
・PJ-11SVGA用リモコン　⇒　22ページ参照

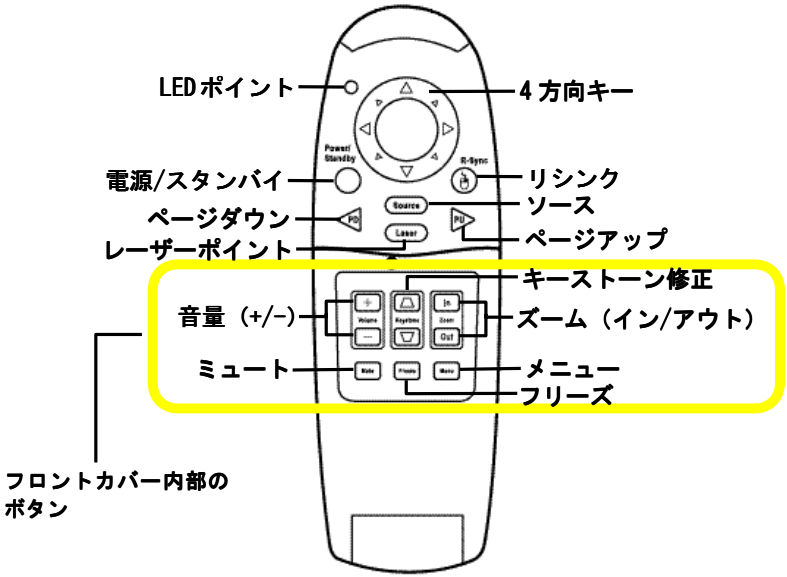
● パネルコントロール



温度警告LED	内部が高温になった場合に、点灯します。 点灯した場合は、電源をオフにして冷ましてください。
音量	内蔵スピーカの音量を調整します。
ミュート	ミュートをオン/オフします。
ソース	映像ソースを選択する際に押します。
メニュー	OSDメニューを表示します。再び押すと終了します。
決定/リシンク	OSD上で選択項目などを決定する際に押します。
電源/スタンバイ	【電源をオン/オフ】（14ページ参照）
ランプ警告LED	ランプ寿命が近づくと点灯します。 点灯した場合は、ランプの交換を行ってください。 （66ページ参照）

● PJ-11XGA用リモコン





注意！

・レーザー光をのぞき込まないでください。
・レーザー光を人に向けないでください。

決定	**フロントカバーを開いている時**	OSDのEnterキーとして使用できます。
	フロントカバーを閉じている時	左クリックします。 ※ マウスケーブルを接続しているときのみ使用可能。
LEDポイント	何かボタンを押すと点灯します。	
4方向キー	**フロントカバーを開いている時**	OSDの ▲ ▼ ◀ ▶ の操作として使用できます。
	フロントカバーを閉じている時	マウスポインターを移動します。 ※ マウスケーブルを接続しているときのみ使用可能。
電源/スタンバイ	【電源をオン/オフ】（14ページ参照）	
リシンク	**フロントカバーを開いている時**	表示画面の再同期（リシンク）を行います。
	フロントカバーを閉じている時	右クリックします。 ※ マウスケーブルを接続しているときのみ使用可能。
ソース	映像ソースを選択する際に押します。 押すたびにパソコン入力→コンポジット入力→Sビデオ入力と切り替わります。	
ページダウン	パソコンを接続しているとき、「ページダウン」キーとして使用できます。 ※ マウスケーブルを接続しているときのみ使用可能。	
ページアップ	パソコンを接続しているとき、「ページアップ」キーとして使用できます。 ※ マウスケーブルを接続しているときのみ使用可能。	

レーザーポイント	レーザー光が照射されます。プレゼンテーション時などに、ポインタとしてご使用ください。
音量	内蔵スピーカの音量を調整します。
キーストーン修正	プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します。
ズーム	画面を32段階でズームイン/ズームアウトします（最大9倍まで）。 ※ ズームイン中は、4方向キーで表示個所を移動できます。
ミュート	ミュートをオン/オフします。
フリーズ	画面を静止させます。再び押すと解除します。
メニュー	OSDメニューを表示します。再び押すと終了します。

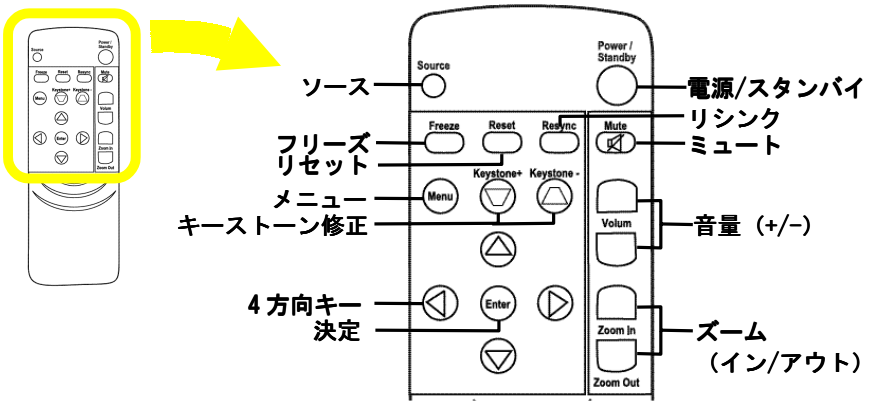
▼ マウス操作

PJ-11XGAのみ、マウスケーブルを接続した場合、リモコンでマウス操作が可能です。

※ フロントカバーを閉じてご使用ください。

リシンク	右クリック
決定	左クリック
4方向キー	マウスポインターの移動
ページアップ	ページアップ
ページダウン	ページダウン

● PJ-11SVGA用リモコン



ソース	映像ソースを選択する際に押します。 押すたびにパソコン入力→コンポジット入力→Sビデオ入力と切り替わります。
電源/スタンバイ	【電源をオン/オフ】（14ページ参照）
フリーズ	画面を静止させます。再び押すと解除します。
リセット	OSDメニュー内で、表示に関する設定のみ初期化します。
リシンク	表示画面の再同期（リシンク）を行います。
ミュート	ミュートをオン/オフします。
メニュー	OSDメニューを表示します。再び押すと終了します。
キーストーン修正	プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します。
音量	内蔵スピーカの音量を調整します。
4方向キー	OSDの ▲ ▼ ◀ ▶ の操作として使用できます。
決定	OSDのEnterキーとして使用できます。
ズーム	画面を32段階でズームイン/ズームアウトします（最大9倍まで）。 ※ ズームイン中は、4方向キーで表示個所を移動できます。

OSD メニューの基本操作

プロジェクタにはOSD（オンスクリーンディスプレイ）メニューが搭載されており、さまざまな設定を簡単に変更したり、映像を調整することができます。
OSDメニューは接続している機器がパソコンならコンピュータモードに、ビデオソースならビデオモードになります。プロジェクタは自動的にソース（映像機器）を検出し、判別します。

1 **リモコンか、パネルコントロールの「メニュー」ボタンを押します。**
OSDメニューが表示されます。

2 **設定したいタブを ◀ ▶ キーで選択し、「決定」ボタンを押します。**
[イメージⅠ]⇔[イメージⅡ] ⇔[オーディオ] ⇔[言語] ⇔[プロジェクション設定]の様に切り替わります。

3 **設定したい項目を ▲ ▼ キーで選択します。**
選択した項目は、青色になります。
[明るさ] ⇔[コントラスト] ⇔[色温度] ⇔[ズーム] ⇔[キーストーン]の様に切り替わります。

4 **◀ ▶ キーでパラメータを調整します。**
同じタブ内で他に調整したい項目があれば、再度手順 3 から作業を行います。

5 **各調整が完了したら、「決定」ボタンを押します。**
他のタブを調整したい場合は、再度手順 2 から作業を行います。

6 **「メニュー」ボタンを押します。**
OSD画面が終了します。

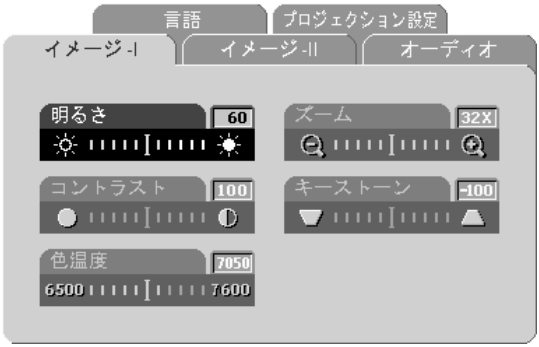


注意！

何も操作がなかった場合は、約 15 秒で OSD メニューは自動的に消えます。

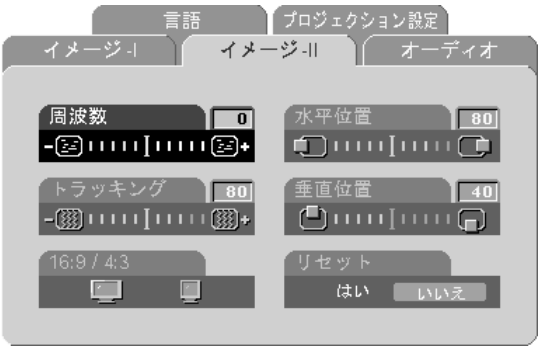
OSD メニューの詳細

●［イメージⅠ］（パソコン選択時）



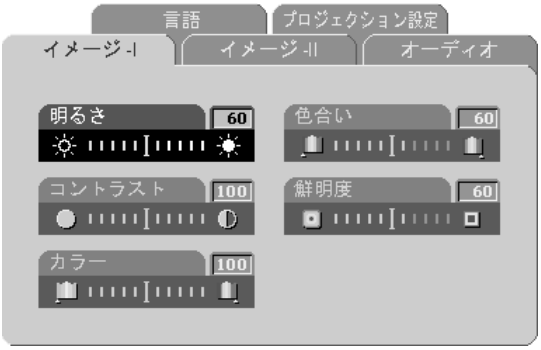
明るさ	画面の明るさを調整します。 ◀のキーを押すと画面が暗くなります。 ▶のキーを押すと画面が明るくなります。
コントラスト	コントラストを調整します。 ◀のキーを押すとコントラスト比が減少します。 ▶のキーを押すとコントラスト比が増加します。
色温度	色温度を調整します。範囲は6500K～7600Kです。 ◀のキーを押すと色温度が減少します（黄色っぽい画面になります）。 ▶のキーを押すと色温度が増加します（青っぽい画面になります）。
ズーム	画面を32段階でズームイン/ズームアウトします。 ◀のキーを押すと画面をズームアウトします。 ▶のキーを押すと画面を最大9倍までズームします。 ※ ズームイン中は、4方向キーで表示個所を移動できます。
キーストーン	プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します。

●［イメージⅡ］（パソコン選択時）



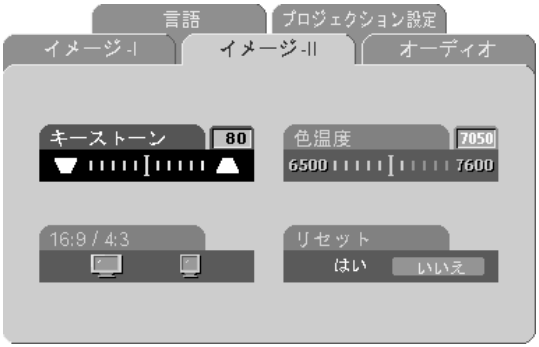
周波数	表示幅の調整ができます。
トラッキング	画面にノイズがでる場合に調整します。
16：9/4：3	アスペクト比を切り替えます。
水平位置	◀のキーを押すと画面全体が左へ移動します。 ▶のキーを押すと画面全体が右へ移動します。
垂直位置	◀のキーを押すと画面全体が下へ移動します。 ▶のキーを押すと画面全体が上へ移動します。
リセット	「はい」を選択すると、現在のモードのパラメータが初期値に戻ります。

●［イメージⅠ］（ビデオ選択時）



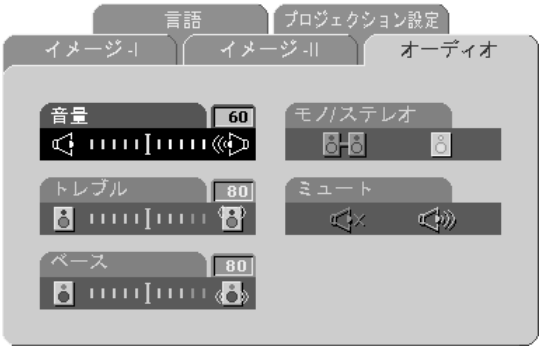
明るさ	画面の明るさを調整します。 ◀のキーを押すと画面が暗くなります。 ▶のキーを押すと画面が明るくなります。
コントラスト	コントラストを調整します。 ◀のキーを押すとコントラスト比が減少します。 ▶のキーを押すとコントラスト比が増加します。
カラー	色の濃さを調整します。 ◀のキーを押すと淡くなります。 ▶のキーを押すと濃くなります。
色合い	画面の赤と緑のバランスを調整します。 ◀のキーを押すと緑色の要素が増加します。 ▶のキーを押すと赤色の要素が増加します。
鮮明度	鮮明度を調整します。 ◀ のキーを押すと鮮明度が減少します。 ▶ のキーを押すと鮮明度が増加します。

●［イメージⅡ］（ビデオ選択時）



キーストーン	プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します。
16：9/4：3	アスペクト比を切り替えます。
色温度	色温度を調整します。範囲は6500K～7600Kです。 ◀のキーを押すと色温度が減少します（黄色っぽい画面になります）。 ▶のキーを押すと色温度が増加します（青っぽい画面になります）。
リセット	「はい」を選択すると、現在のモードのパラメータが初期値に戻ります。

●［オーディオ］



音量	◀のキーを押すと音量を下げます。 ▶のキーを押すと音量を上げます。
トレブル **（高音）**	オーディオソースの高音域を調整します。 ◀のキーを押すと高音域を強めます。 ▶のキーを押すと高音域を弱めます。
ベース **（低音）**	オーディオソースの低音域を調整します。 ◀のキーを押すと低音域を強めます。 ▶のキーを押すと低音域を弱めます。
モノ/ステレオ	オーディオソースをモノラル/ステレオに切り替えます。 を選択するとモノラルになります。（左の音声のみが出力されます。） を選択するとステレオになります。（左右の音声がミックスされて出力されます。）
ミュート	を選択するとミュートがオンになります。 を選択するとミュートがオフになります。



注意！

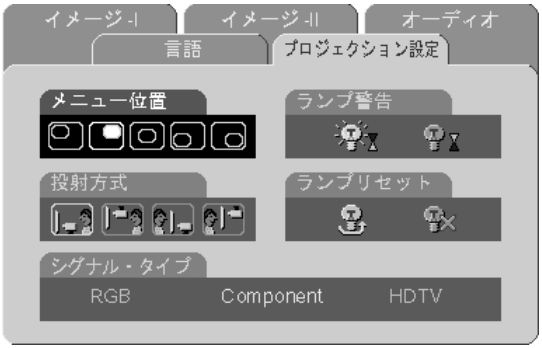
内蔵スピーカは、モノラル出力です。入力している音声がステレオの場合は、左右の音声をミックスして出力します。

●［言語］



English	OSDメニューを選択した言語で表示します。
Deutsch	
Francais	
Italiano	
Espanol	
Portuguese	
日本語	
中文（繁）	
中文（簡）	

●［プロジェクション設定］



メニュー位置	投影画面上でOSDメニューを表示させる位置を選択します。	
投射方式	**前面投影** 	スクリーンの前面から投影する場合に選択します。
	裏面投影 	画面の左右を反転して表示します。スクリーンの裏面から投影する場合に選択します。
	前面天井投影 	画面の上下を反転して表示します。天井に取り付けてスクリーンの前面から投影する場合に選択します。
	裏面天井投影 	画面の上下左右を反転して表示します。天井に取り付けてスクリーンの裏面から投影する場合に選択します。
シグナル･タイプ	ご使用のビデオソースのシグナルタイプを表示します。	
ランプ警告	ランプ寿命の30時間前に、警告メッセージを出すか出さないかを選択します。	
ランプリセット	ランプの取り替えを行った後にリセットしてください。	

サポートソフトを活用する

映像機器としてパソコンを接続した場合は、サポートソフトのインストールをおすすめします。

Windows XPの場合 32ページ

Windows 2000の場合 41ページ

Windows Me/98の場合 48ページ

Windows 95 4.00.950/4.00.950aの場合 52ページ

Windows 95 4.00.950 B/4.00.950 Cの場合 55ページ

参考

・本製品は、サポートソフトをインストールしなくてもご使用いただけますが、サポートソフトをインストールすれば、本製品に適した解像度、および周波数の設定が可能になるため、インストールをおすすめします。

・Windows NT 4.0 など、上記以外の OS ではサポートソフトをインストールする必要はありません。取り付け後はそのままお使いください。

Windows XP の場合

※ 画面は[Windows XPスタイル]に設定した場合のものです。

Windows XPスタイルにする

デスクトップ(壁紙)を右クリック→[プロパティ]→[デザイン]タブ→[ウィンドウとボタン]で[Windows XP スタイル]を選択します。

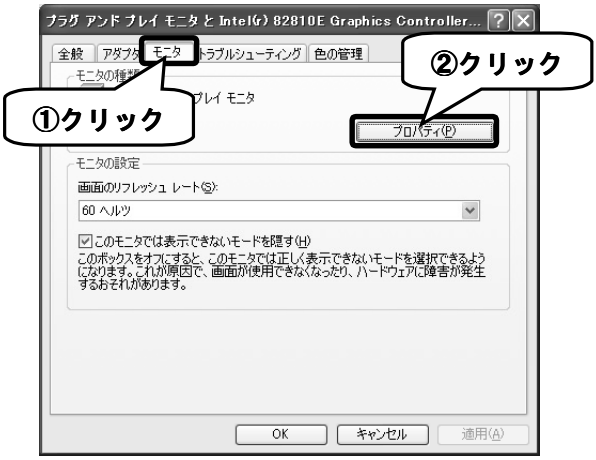
1 **Windows XPを起動します。**

2 **デスクトップ（壁紙）上で右クリック→[プロパティ]をクリックします。**
［画面のプロパティ］が起動します。

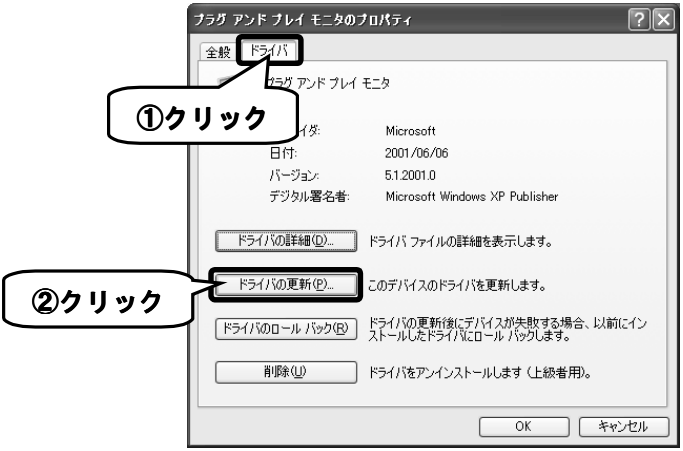
3 **［設定］タブ→[詳細]ボタンをクリックします。**



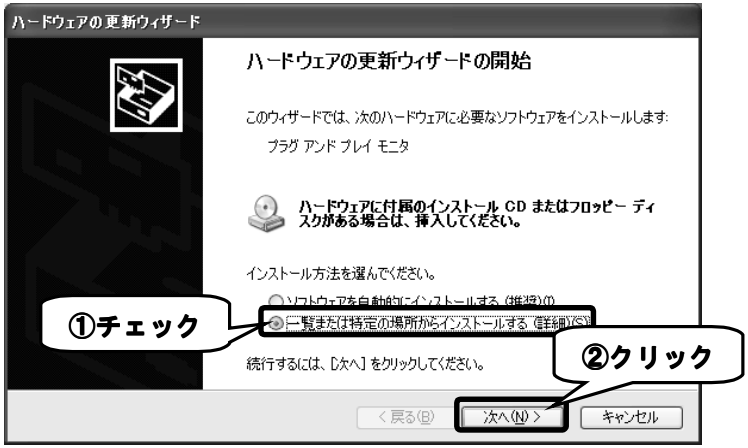
4 [モニタ] タブ→[プロパティ]ボタンをクリックします。



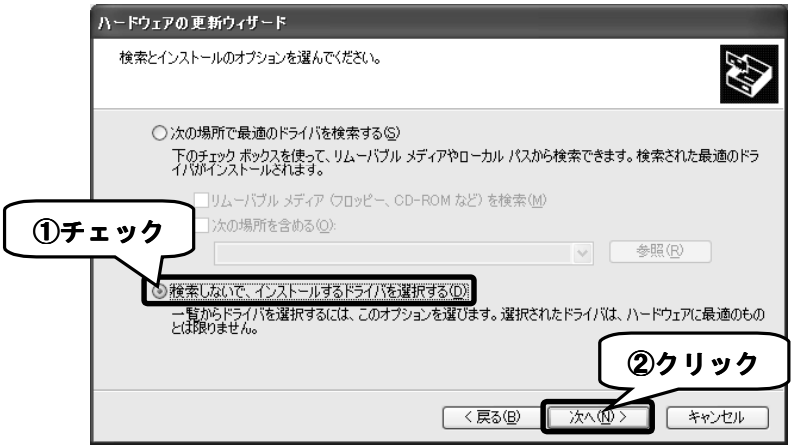
5 [ドライバ]タブ→ [ドライバの更新] ボタンをクリックします。



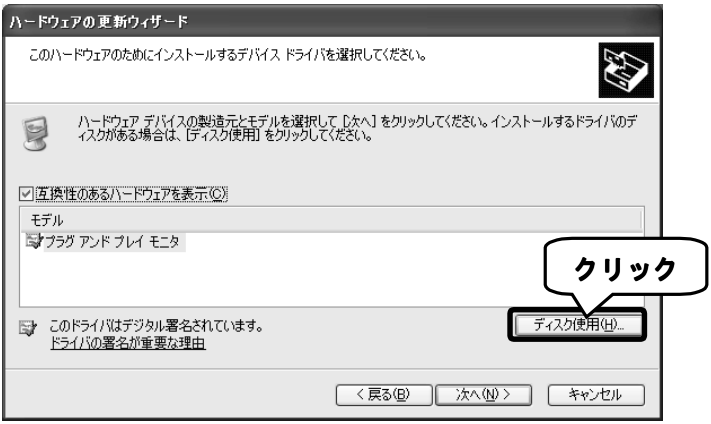
6 [一覧または特定…]をチェック→[次へ]ボタンをクリックします。



7 [検索しないで…]をチェック→[次へ]ボタンをクリックします。



8 [ディスク使用]ボタンをクリックします。



9 「PJ-11シリーズサポートソフト」をセットします。

10 [製造元のファイルのコピー元]でフロッピーディスクドライブとフォルダを指定→[OK]ボタンをクリックします。

▼ フロッピーディスクドライブがAの場合の指定例

アナログ接続の場合 **A:¥ANALOG**

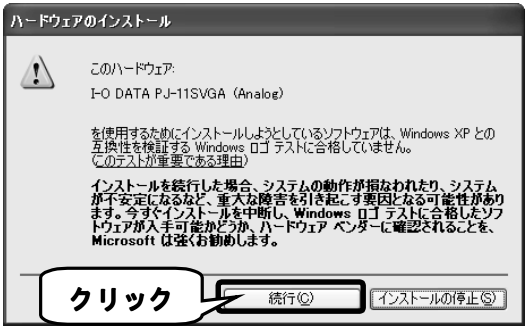
デジタル接続の場合 **A:¥DIGITAL**



11 [I-O DATA PJ-11…]（ご使用の機種型番）をクリック→[次へ]ボタンをクリックします。



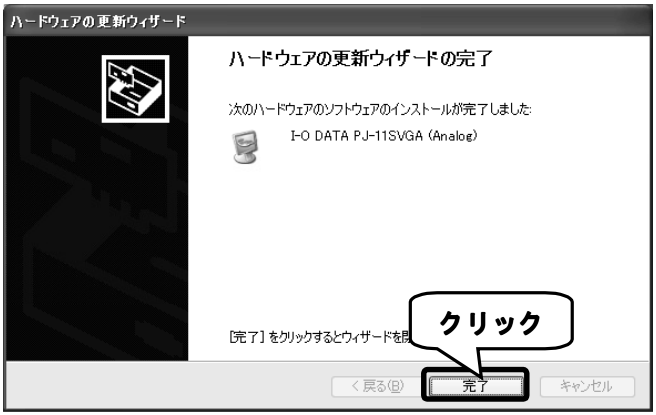
12 [続行]ボタンをクリックします。



参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点でマイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、特に問題ありませんのでそのまま続行します。
→マイクロソフト社は、WHQL という組織においてパソコン本体や周辺機器などを対象に認定手続きを実施しております。このたびお買い上げいただいた製品は現時点では認定を受けておりませんが、問題なくご利用いただけます。

13 ［完了］ボタンをクリックします。



以上でWindows XPへのインストールは終了です。

次は【インストール後の確認（Windows XP）】（次ページ）にお進みください。

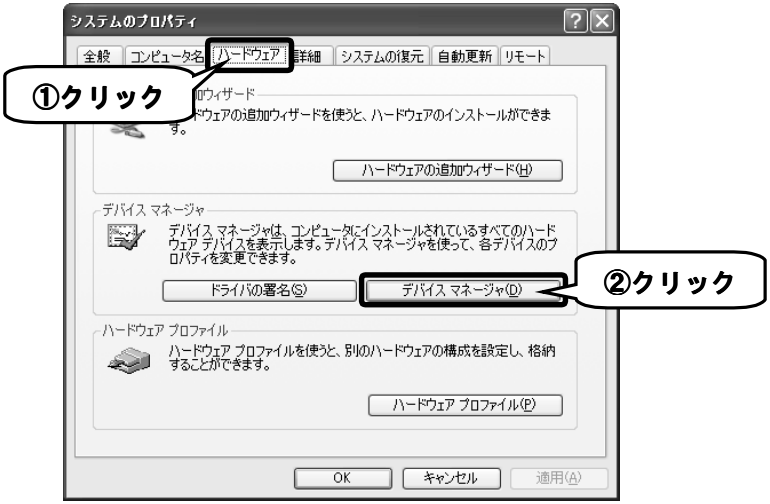
● インストール後の確認（Windows XP）

本製品がWindows XP上で正常に認識されているかどうかを[デバイスマネージャ]で確認します。[デバイスマネージャ]上で正しく表示されていればインストール作業は正常に完了しています。

1 **[スタート]→[マイコンピュータ]を右クリック→[プロパティ]をクリックします。**



2 [ハードウェア]タブをクリック→[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。



3 [モニタ]をダブルクリックします。



4 **本製品が正常に認識されていることを確認します。**
[モニタ]下にご使用のプロジェクタ名が表示されている場合は、正しく認識されています。

正しく表示されていれば正常です。

本製品をお使いください。



参考

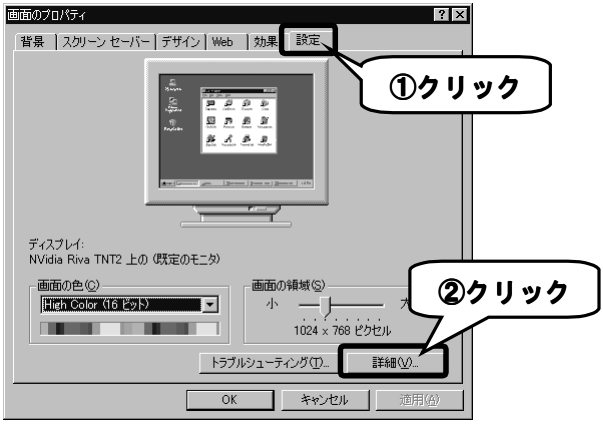
解像度・色数の変更は、デスクトップ上を右クリック→[プロパティ]をクリック→［画面のプロパティ］で行ってください。

Windows 2000 の場合

1 **Windows 2000を起動します。**

2 **デスクトップ（壁紙）上で右クリック→[プロパティ]をクリックします。**
［画面のプロパティ］が起動します。

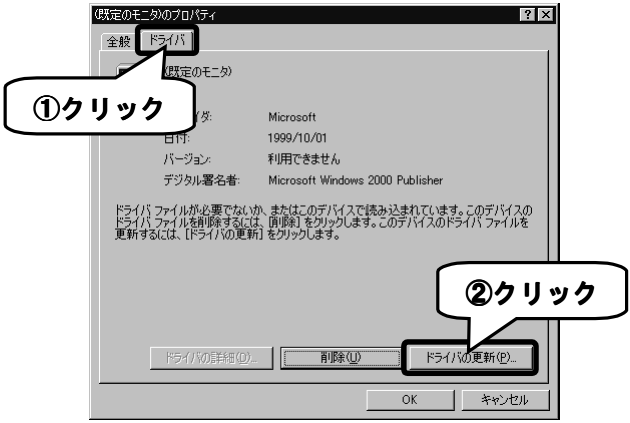
3 **［設定］タブ→[詳細]ボタンをクリックします。**



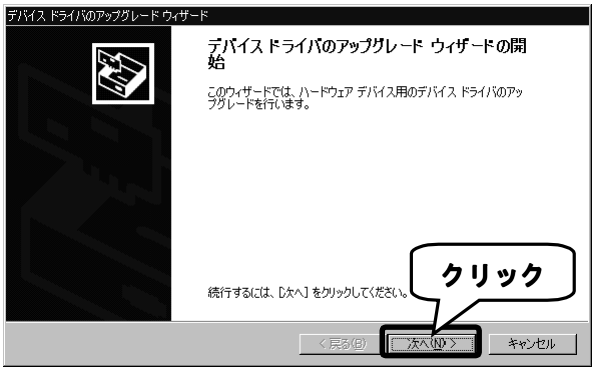
4 **［モニタ］タブ→[プロパティ]ボタンをクリックします。**



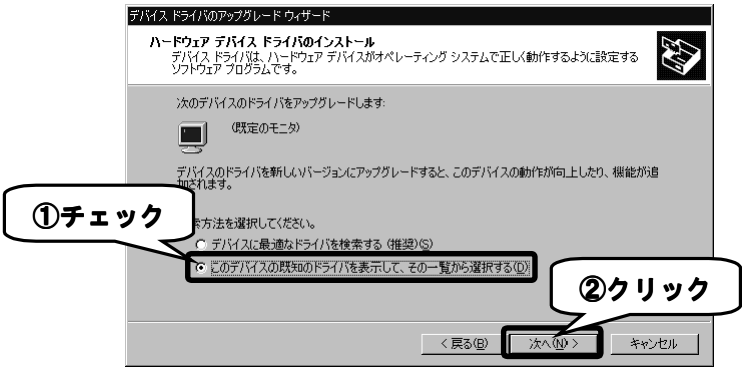
5 ［ドライバ］タブ→［ドライバの更新］ボタンをクリックします。



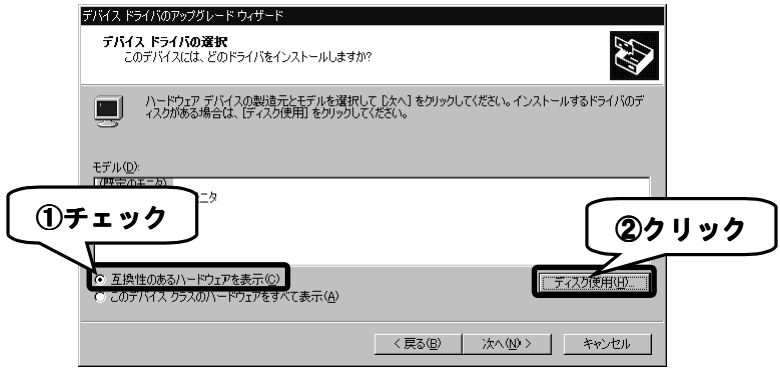
6 ［次へ］ボタンをクリックします。



7 [このデバイスの…]をチェック→[次へ]ボタンをクリックします。



8 [互換性のある…]をチェック→[ディスク使用]ボタンをクリックします。



9 「PJ-11シリーズサポートソフト」をセットします。

10 ［製造元のファイルのコピー元］でフロッピーディスクドライブとフォルダを指定→［OK］ボタンをクリックします。

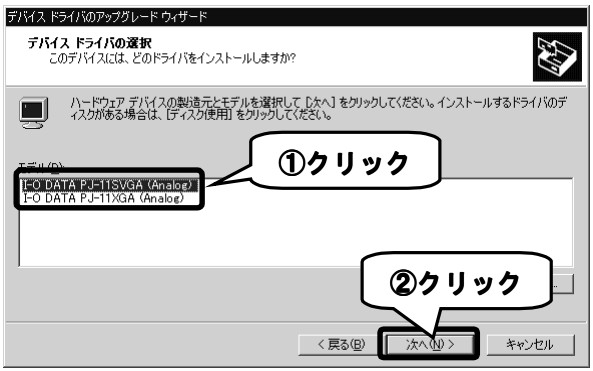
▼ フロッピーディスクドライブがAの場合の指定例

アナログ接続の場合　A:¥ANALOG

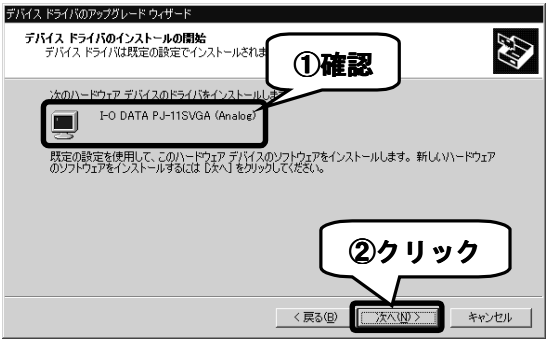
デジタル接続の場合　A:¥DIGITAL



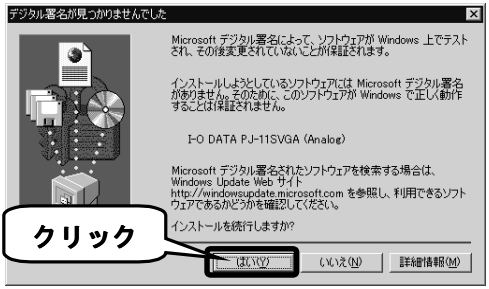
11 ［I-O DATA PJ-11…］（ご使用の機種型番）をクリック→[次へ]ボタンをクリックします。



12 モニタの種類を確認し、［次へ］ボタンをクリックします。



13 ［はい］ボタンをクリックします。



参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点でマイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、特に問題ありませんのでそのまま続行します。
→マイクロソフト社は、WHQL という組織においてパソコン本体や周辺機器などを対象に認定手続きを実施しております。このたびお買い上げいただいた製品は現時点では認定を受けておりませんが、問題なくご利用いただけます。

14 ［完了］ボタンをクリックします。

15 ［閉じる］ボタンをクリックします。

手順 4 の画面に戻るので、[閉じる]ボタンをクリックし、さらに[画面のプロパティ]の[閉じる]ボタンをクリックします。

以上でWindows 2000へのインストールは終了です。
次は【インストール後の確認（Windows 2000）】（次ページ）にお進みください。

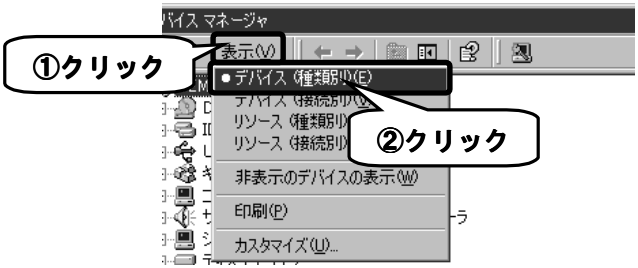
● インストール後の確認（Windows 2000）

本製品がWindows 2000上で正常に認識されているかどうかを[デバイスマネージャ]で確認します。[デバイスマネージャ]上で正しく表示されていればインストール作業は正常に完了しています。

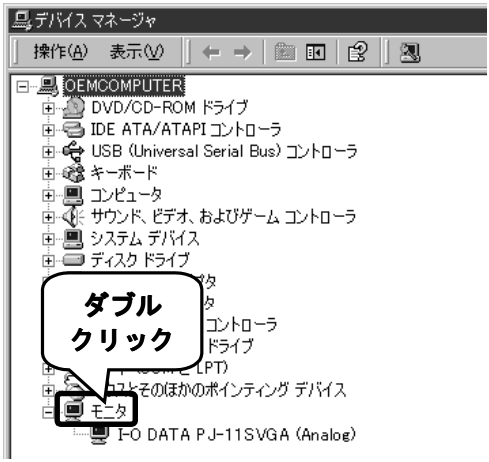
1 **[マイコンピュータ] を右クリック→ [プロパティ] をクリックします。**
［システムのプロパティ］が起動します。

2 **[ハードウェア] タブ→[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。**

3 **[表示] →[デバイス（種類別）]をクリックします。**



4 ［モニタ］をダブルクリックします。



5 本製品が正常に認識されていることを確認します。

[モニタ]下にご使用のプロジェクタ名が表示されている場合は、正しく認識されています。

正しく表示されていれば正常です。

本製品をお使いください。

参考

解像度・色数の変更は、デスクトップ上を右クリック→[プロパティ]をクリック→［画面のプロパティ］で行ってください。

Windows Me/98 の場合

※ 画面はWindows 98のものです。

1 **Windows を起動します。**
本製品が自動的に認識されます。

2 **［次へ］ボタンをクリックします。**
Windows Meの場合は、［ドライバの場所を指定する］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックします。



3 **［特定の場所にあるすべての…］をチェック→［次へ］ボタンをクリックします。**
Windows Meの場合も、同様の項目をチェックし、［次へ］ボタンをクリックします。



4 ［ディスク使用］ボタンをクリックします。



5 「PJ-11シリーズサポートソフト」をセットします。

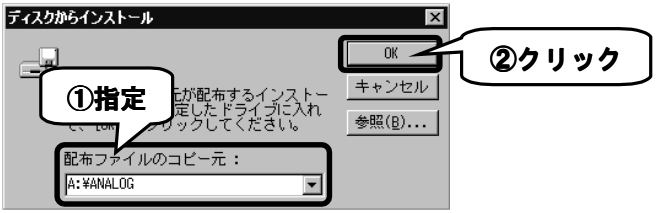
6 ［配布ファイルのコピー元］でフロッピーディスクドライブとフォルダを指定→［OK］ボタンをクリックします。

▼ フロッピーディスクドライブがAの場合の指定例

アナログ接続の場合 **A:¥ANALOG**

デジタル接続の場合 **A:¥DIGITAL**

PC-9821 シリーズの場合は、［参照］ボタンをクリックしてフロッピーディスクドライブとフォルダを指定してから、［OK］ボタンをクリックしてください。



7 ［I-O DATA PJ-11…］（ご使用の機種型番）をクリック→［次へ］ボタンをクリックします。



8 ［次へ］ボタンをクリックします。



9 ［完了］ボタンをクリックします。



以上でWindows Me/98へのインストールは終了です。
次は【インストール後の確認（Windows Me/98/95）】（58ページ）にお進みください。

Windows 95 4.00.950/4.00.950a の場合

1 **Windows 95を起動します。**

2 **デスクトップ（壁紙）を右クリック→［プロパティ］をクリックします。**
［画面のプロパティ］が起動します。

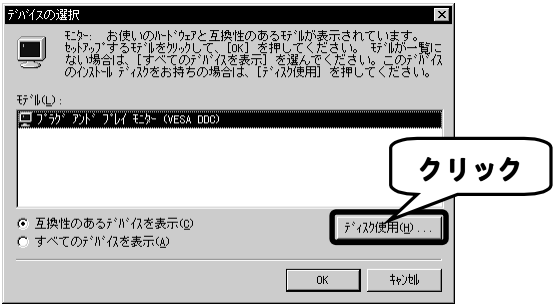
3 **［ディスプレイの詳細］タブ→［ディスプレイの変更］ボタンをクリックします。**



4 **［ディスプレイの種類］の［変更］ボタンをクリックします。**



5 ［ディスク使用］ボタンをクリックします。



6 「PJ-11シリーズサポートソフト」をセットします。

7 ［配布ファイルのコピー元］でフロッピーディスクドライブとフォルダを指定→［OK］ボタンをクリックします。

▼ フロッピーディスクドライブがAの場合の指定例

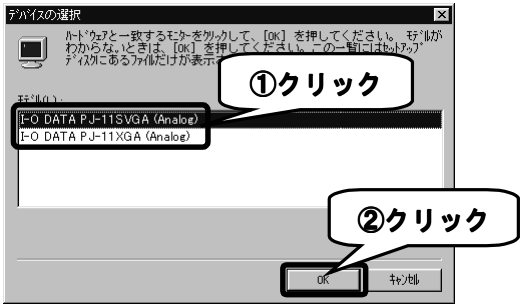
アナログ接続の場合 **A:¥ANALOG**

デジタル接続の場合 **A:¥DIGITAL**

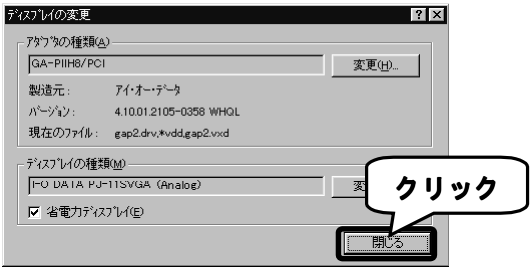
PC-9821 シリーズの場合は、［参照］ボタンをクリックしてフロッピーディスクドライブとフォルダを指定してから、［OK］ボタンをクリックしてください。



8 **［I-O DATA PJ-11…］（ご使用の機種型番）をクリック→[次へ]ボタンをクリックします。**



9 **［閉じる］ボタンをクリックします。**



10 **あとは画面の指示に従い、［OK］ボタンをクリックします。**

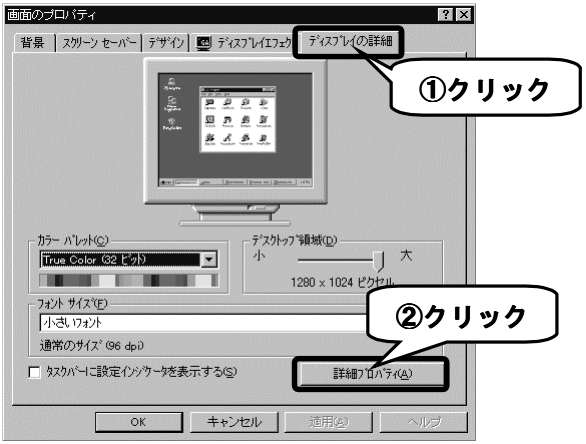
以上でWindows 95 4.00.950/4.00.950aへのインストールは終了です。
次は【インストール後の確認（Windows Me/98/95）】（58ページ）にお進みください。

Windows 95 4.00.950 B/4.00.950 C の場合

1 **Windows 95を起動します。**

2 **デスクトップ（壁紙）を右クリック→［プロパティ］をクリックします。**
［画面のプロパティ］が起動します。

3 **［ディスプレイの詳細］タブ→［詳細プロパティ］ボタンをクリックします。**



4 **［モニター］タブ→［変更］ボタンをクリックします。**



5 ［ディスク使用］ボタンをクリックします。



6 「PJ-11シリーズサポートソフト」をセットします。

7 ［配布ファイルのコピー元］でフロッピーディスクドライブとフォルダを指定→［OK］ボタンをクリックします。

▼ フロッピーディスクドライブがAの場合の指定例

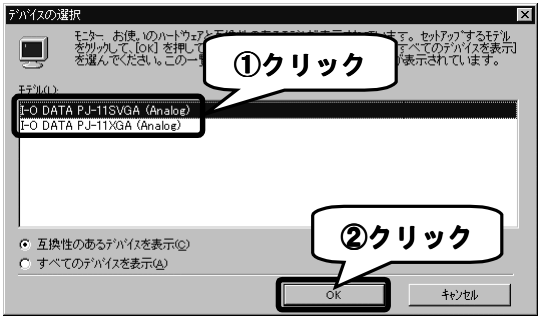
アナログ接続の場合　**A:¥ANALOG**

デジタル接続の場合　**A:¥DIGITAL**

PC-9821 シリーズの場合は、[参照]ボタンをクリックしてフロッピーディスクドライブとフォルダを指定してから、[OK]ボタンをクリックしてください。



8 **[I-O DATA PJ-11…]（ご使用の機種型番）をクリック→[次へ]ボタンをクリックします。**



9 **あとは画面の指示に従い、［OK］ボタンをクリックします。**

以上でWindows 95 4.00.950 B/4.00.950 Cへのインストールは終了です。
次は【インストール後の確認（Windows Me/98/95）】（次ページ）にお進みください。

● インストール後の確認（Windows Me/98/95）

本製品がWindows Me/98/95上で正常に認識されているかどうかを[デバイスマネージャ]で確認します。[デバイスマネージャ]上で正しく表示されていればインストール作業は正常に完了しています。

1 **［マイコンピュータ］を右クリック→［プロパティ］をクリックします。**
［システムのプロパティ］が起動します。

2 **［デバイスマネージャ］タブをクリック→［種類別に表示］をチェックします。**



PC98-NXシリーズで「デバイスマネージャ」タブが表示されない

1 **［スタート］→［プログラム］→［Cyber Trio-NX］（［NXユーティリティ］または［NXの設定］）→［Cyber Trio-NXセットアップ］を選択します。**

2 **［アドバンスモード］にチェックし、Windowsを再起動します。**

3 **再度手順の 1 から行います。**

3 ［モニタ］をダブルクリックします。



4 本製品が正常に認識されていることを確認します。

[モニタ]下にご使用のプロジェクタ名が表示されている場合は、正しく認識されています。

正しく表示されていれば正常です。

本製品をお使いください。

参考

解像度・色数の変更は、デスクトップ上を右クリック→[プロパティ]をクリック→［画面のプロパティ］で行ってください。


MEMO

ふろく



困ったときには 62ページ

トラブル発生時にご覧ください。



ランプの交換 66ページ

ランプの寿命がきたら、取り替えてください。



リモコンに電池をセット 68ページ

はじめてリモコンに電池をセットする場合や、電池を取り替える場合にご覧ください。



用語解説 69ページ



ハードウェア仕様 70ページ

困ったときには

ご使用中にトラブルが発生した場合にご参照ください。

画面になにも表示されない

- すべてのケーブルと電源コードが、【取り付けよう】（7ページ）で説明されているようにしっかりと接続されているかどうか確認してください。
- 各コネクタのピンが曲がったり、壊れていないか確認してください。
- ランプモジュールがしっかりと装着されているかどうか確認してください。詳しくは、【ランプの交換】（66ページ）をご覧ください。
- レンズキャップ（14ページ）を外してあるか確認してください。また、プロジェクタのスイッチがオンになっているか確認してください。

・画面が一部しか表示されない
・スクロールしてしまう
・正しく表示されない　など

- リモコンのリシンクボタンを押してください。
- パソコンでご使用の場合は、解像度を以下のように変更してください。

  PJ-11XGAの場合……1024×768以下
  PJ-11SVGAの場合 …800×600以下

- ノートパソコンをご使用の場合は、前述を参考に解像度を変更し、ノートパソコンの設定で、ディスプレイを「外部モニターのみ」もしくは「CRTのみ」の設定にしてください。
- 解像度の変更が困難だったり、ハングアップが発生した場合は、すべての機器とプロジェクタを一旦オフにしてから、改めてオンにしてください。

ノートパソコンを接続すると、ノートパソコンの液晶画面がでない

- ノートパソコンの場合、本製品のような外部の出力装置を接続すると、ノートパソコンの液晶画面が自動的にオフになるものがあります。ノートパソコンの取扱説明書をご覧になり、液晶画面と、外部の出力装置の両方に映像がでるように設定してください。
- PowerBookの場合は、[コントロールパネル]から[PowerBookディスプレイ]を開き、[ビデオモニター]を[オン]にしてください。

画面が不安定、またはちらつく

- OSDメニューで「トラッキング」を調整してください。（25ページ参照）
- モニターカラー設定をパソコンから変更してください。

画面に縦のちらつき線がでる

- 「周波数」を調整してください。（25ページ参照）

画面のフォーカスが合わない

- フォーカスリングで調整してください。
- スクリーンとプロジェクタ間の距離をご確認ください。スクリーンとプロジェクタ間の距離が1m以内、または12m以上の場合、うまくフォーカスを合わせることはできません。

パソコンで使用時に、解像度を変更したら、画面が乱れた（何も表示されなくなった）

● 本製品の仕様外の解像度やリフレッシュレート（垂直周波数）を設定された為と思われます。すぐに「ESC」キーを押してください。
それでも改善されない場合は、以下の方法にて設定を変更してください。

※ Windows NT 4.0の場合は、起動時に「VGA MODE」を選択し、③からの操作を行ってください。

① Windows 起動ロゴが表示される前あたりで、キーボードの[F8]キーを断続的に何回か押します。
押し続けないでください。

② 起動メニューが表示しますので、[3.SafeMode]を選択します。
（Windows XP は[セーフモード]→[Microsoft Windows XP Professional]もしくは[Microsoft Windows XP Home Edition]を選択します。）

③ セーフモードでWindowsが起動しますので、デスクトップ（壁紙）部分で右クリックし[プロパティ]をクリックします。

④ [画面のプロパティ]が起動しますので、[設定]タブをクリックし、（Windows 95は、[詳細]タブ）解像度を640×480もしくは800×600に指定します。
変更できない状態なら、そのまま[OK]ボタンをクリックします。

⑤ Windowsを再起動します。

⑥ 再起動後、再度画面のプロパティより、画面の解像度を設定してください。設定後には必ず[適用]ボタンをクリックしてください。
【解像度/周波数対応表】（71ページ）をご覧になり、表示可能な解像度に設定してください。

ランプが焼ききれる、または小さな音がする

ランプの寿命が近づくと、焼ききれたり破裂音をさせたりすることがあります。このような場合は、そのランプはもう使用できませんので、交換してください。ランプモジュールの交換は【ランプの交換】（次ページ）をご覧ください。

ビデオテープを再生したが、正しく表示されない

劣化したビデオテープの場合、正しく表示できない場合があります。新しいものがあれば、それを試してみてください。

ランプの交換

プロジェクタは自動的にランプの寿命を検出し、ランプの寿命が少なくなると、警告メッセージを表示します。この場合は、すぐにランプを交換してください。
１時間ほど放置し、余熱が取れてからランプを交換してください。

交換用のランプ「PJ-11LMP」を別途お求めください。
弊社指定以外のものはご使用いただけません。



注意！

- **ご使用直後はランプ部分は大変高温になっています。絶対に触れないでください。やけどの恐れがあります。**
- **ランプの交換はご使用後１時間程度放置し、余熱が取れてから行ってください。**
- **ランプモジュールやガラスのバルブを落とさないようご注意ください。ガラスが散り、けがをする恐れがあります。**
- **ランプのお取り扱い時は、手袋などをして素手ではさわらないようにしてください。**
- **ランプ部のプラスチック部分以外は、絶対にさわらないでください。破損する恐れがあります。**

1. **プロジェクタの電源を切ります。**
   電源がオンになっている場合は、「電源/スタンバイ」ボタンを押してオフにします。
2. **１時間程度放置し、余熱を取ります。**
3. **プロジェクタに接続されているすべてのケーブルを外します。**
4. **ドライバーでカバーのネジを取り外し、カバーを取り外します。**
5. **3つのネジをランプモジュールから取り外します。**

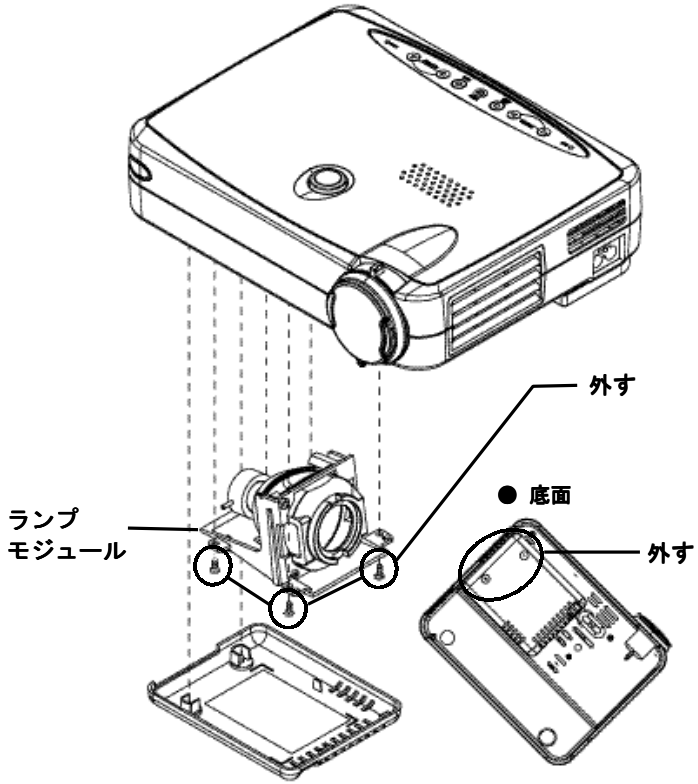
6 ランプモジュールを引き出します。

7 以上の手順を逆から行い、新しいランプを取り付けます。

8 ランプ交換後は、【OSDメニューの基本操作】（23ページ）の手順を参考に、OSDメニューの[プロジェクション設定]タブ→[ランプリセット]を行います。

注意！

手順 4 のカバーを取り外した状態では、プロジェクタの電源はオンになりません。必ずカバーを取り付けてご使用ください。



リモコンに電池をセット

リモコンは、効きが悪くなったら乾電池（単4型2個）を別途用意し、交換してください。なお、添付の乾電池は、動作確認用のものです。確認後は新しいものと交換してください。



注意！

- **乾電池単４型のものを２個ご用意ください。**
- **電池には、極性があります。＋極と－極の向きに注意してセットしてください。**
- **電池を交換してもリモコンが使えない場合は、極性が間違っている可能性があります。極性を確認してください。**

1 **カバーを外します。**

2 **古い電池が入っている場合は取り出し、新しい電池をセットします。**

極性に注意してセットしてください。
バネのある方が－極です。電池の突起のない部分がこちらにくるようにセットします。
2本とも同時に交換してください。

3 **1 で外したカバーを取り付けます。**

用語解説

リシンク

表示している解像度のパラメータを再調整することをいいます。

DLP™(Digital Light Processing)

米TEXAS INSTRUMENTS TECHNOLOGY社が開発したデジタルライトプロセシングと呼ばれる新しい映像技術で、DMD（デジタルマイクロミラーデバイス）という光半導体を中心にして開発されました。

OSD(On Screen Display)

画面の一部に設定値を表示しながら、設定が可能な画面の機能。本製品では、OSDを使っていろいろな調整を行うことができます。

ANSI ルーメン

ANSI（American National Standards Institute）が定めたプロジェクタの明るさを表す単位（光束の単位）です。

ハードウェア仕様

● 本体仕様

製品型番	PJ-11XGA	PJ-11SVGA
投写方式	シングルチップDLP™テクノロジー	
コントラスト	500:1	
輝度	1100ANSIルーメン	
ビデオ対応信号	NTSC/PAL	
解像度	1024×768	800×600
投写レンズF	2.2～2.4	
f（mm）	28.51～34.21	
ランプ（光源出力）	120W P-VIPランプ	
ズーム方式/方法	光学/手動	
倍率	1.2	
フォーカス方式	手動	
映像入力端子	DVI-I、アナログRGB、コンポジットビデオ、Sビデオ	アナログRGB、コンポジットビデオ、Sビデオ
映像出力端子	アナログRGB	ー
音声入力端子	ステレオミニジャック	
制御入力端子	リモートマウス用8ピン	ー
スピーカ	2W×1	
外形寸法(W×D×H)	223×175×65	
質量	1.6ｋｇ	
使用温度条件 動作時	5℃～35℃	
使用温度条件 収納時	-20℃～60℃	
使用湿度条件	20%～80%（結露なきこと）	
定格電圧	AC100V	
消費電力	最大：210W	最大：200W
盗難防止用ホール	○	○

● 解像度/周波数対応表

	表示モード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	PJ-11XGA		PJ-11SVGA
				アナログ	デジタル	アナログ
Windows	720×400	31.5	70.1	○	○	○
	640×480	31.5	59.9	○	○	○
		37.9	72.8	○	○	○
		37.5	75.0	○	○	○
		43.3	85.0	○	○	○
	800×600	35.2	56.3	○	○	○
		37.9	60.3	○	○	○
		46.9	75.0	○	○	○
		48.1	72.2	○	○	○
		53.7	85.1	○	○	○
	1024×768	48.4	60.0	○	○	○※
		56.5	70.1	○	○	○※
		60.0	75.0	○	○	○※
		68.7	85.0	○	—	○※
	1280×1024	64.0	60.0	○※	—	—
		80.0	75.0	○※	—	—
		90.0	85.0	○※	—	—
Power Macintoshシリーズ	640×480	35.0	66.7	○	—	○
	832×624	49.7	74.5	○	—	○※
	1024×768	60.2	74.9	○	—	○※
	1152×870	68.7	75.1	○※	—	—

※ ダウンスケーリング（縮小表示）で表示します。



注意！

- パソコンからの信号は全てノンインタレースであること。
- Power Macintoshシリーズでご使用の場合は、別途市販のMacintosh用接続変換コネクタが必要になる場合があります。
- 表示解像度、表示色数は接続するグラフィックボードによって異なります。
- コンポジットシンク及びシンクオングリーンには対応していません。

サポートセンターへのお問い合わせ

■

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号および FAX 番号
2. ご使用の弊社製品名。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
5. ご使用の OS とアプリケーションの名称、バージョンおよびメーカー名。
6. 現在の状態（どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容）。

■

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ　　http://www.iodata.jp/support/

■

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「PJ-11XGA/11SVGA」係　宛

■

電話番号　　本社　　076-260-3646
東京　　03-3254-1036
受け付け時間　　9:30～19:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

■FAX

FAX番号　　本社076-260-3360
東京03-3254-9055
宛先　　株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「PJ-11XGA/11SVGA」係　宛

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。予めご了承ください。

保証について

■保証期間

・保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。お送りいただいた製品を検査後、有償となる場合のみ往復ハガキにて修理金額をご案内致しますので、修理するか否かをご検討の上、往復ハガキにご記入いただきご返送ください。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。

・弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

・本製品の使用によって生じた、データの消失および破損。

・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。

・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

■オンライン

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ　　http://www.iodata.jp/lib/

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料および手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「PJ-11XGA/11SVGA」サービス窓口　宛

電話番号　076-260-3663

受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。

修理について

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。
- 修理品送付先

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「PJ-11XGA/11SVGA」　修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱･梱包材を使用してください。また、紛失などのトラブルを避けるため、宅配便または書留郵便小包でのご送付をお願いいたします。

- 修理品納期問い合わせについて

受付窓口　「PJ-11XGA/11SVGA」 サービス窓口
電話番号　金沢 076-260-3663
受付時間　9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。

PJ-11XGA/PJ-11SVGA 取扱説明書
2002.Jan.11　100004-02
発　行　　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2001-2002 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。